

消費者余剰と生産者余剰

外部効果のない完全競争市場均衡の供給量は、消費者余剰と生産者余剰の和である社会的総余剰を最大化する。

I. 消費者余剰

- A. 一個人，または一家計の消費者余剰
 - 1. 需要曲線の意味
 - a. 消費財の限界評価： 追加 1 単位の価値
 - b. その追加 1 単位を得るために進んで支払おうとす最大限の価格
 - 2. 限界評価と市場価格の差の総和
- B. 市場全体の消費者余剰
 - 1. 個人の需要量がさまざまに変化する場合
 - 2. 需要量が 1 個に限られる場合（特定の CD または書籍など）

II. 生産者余剰

- A. 一企業の生産者余剰
 - 1. 供給曲線（限界費用曲線）の意味
 - a. 生産物の追加 1 単位に掛かる追加費用
 - b. その追加 1 単位の供給に必要な最小限の収入
 - 2. 市場価格と限界費用の差の総和（収入 - 可変費用 = 利潤 + 固定費用）
- B. 市場全体の生産者余剰
 - 1. 個別企業の生産者余剰の市場全体での総和
 - 2. 市場価格水準を表す直線と供給曲線に挟まれる部分の面積

III. 社会的総余剰とその最大化

- A. 社会的総余剰の構成要素
 - 1. 消費者余剰の市場全体での総和
 - 2. 生産者余剰の市場全体での総和
- B. 完全競争市場の均衡での社会的総余剰
 - 1. 均衡点： 需要曲線と供給曲線の交点
 - 2. 社会的総余剰： 需要曲線と供給曲線に挟まれる部分の面積

IV. 社会的総余剰が最大化されない市場（ミクロ経済学 で学ぶ問題）

- A. 外部効果のある完全競争市場
- B. 独占市場

参考文献

教科書・第 2, 3 章（第 9, 11 章）